

平成30年度 第6回コンクリート常任委員会議事録

日時：2019年3月15日（金）14時30分～17時

場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター ホール3F

出席者：前川委員長，小林幹事長，石田，井上，岩城，宇治，内田，大内，鎌田，河合，下村，田中，谷村，土谷，津吉，中村，二羽，濱田，久田，平田，本間，松田，松村，睦好，森，森川，山路の各常任委員，綾野，加藤，齊藤，坂田，名倉の各常任委員兼幹事，原田，林，橋本の各オブザーバ，小川（事務局）

配付資料：

- 6-0：平成30年度第6回コンクリート常任委員会議事次第
- 6-1：平成30年度第5回コンクリート常任委員会議事録（案）
- 6-2：示方書連絡調整委員会(203)（第4期）設立趣意書
- 6-3：電気化学的防食工法設計施工指針改訂小委員会（258）委員構成
- 6-4：高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの品質・性能評価に関する調査研究小委員会（3種委員会）設立趣意書
- 6-5：平成30年度コンクリート委員会一般会計予算施行状況
- 6-6：既設コンクリート構造物の構造性能評価研究小委員会（355）第二期委員名簿
- 6-7：若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会のご案内
- 6-8-1：「高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート製品の設計・製造・施工指針（案）」（262）の発刊に伴う講習会のご案内
- 6-8-2：262委員会指針講習会実施状況一覧[地方開催]
- 6-9：示方書〔維持管理編〕〔規準編〕講習会のご案内
- 6-10：平成31年度「重点研究課題(研究助成金)」申請書
- 6-11：第19回コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードシンポジウム論文募集

議 事：

1. 委員長挨拶

この2年間，示方書，指針類の改訂に際して，活発な審議を通して適切な結論を出して頂いたことに対して，委員長より感謝の意が表された．示方書の改訂で議論されてきたことが，国の関係書類においても取り入れられるようになってきている．所属する組織の立場とは別に，一技術者として，これからもコンクリート技術に関して活発な意見交換をお願いしたいとあいさつがあった．

2. 平成30年度 第5回コンクリート常任委員会議事録 の承認【資料6-1】

坂田幹事より，前回議事録が確認され，異議なく承認された．

審議事項：

1. 第2種委員会の設立・委員追加

(1) 示方書連絡調整委員会(203)（第4期）の設立【資料6-2】

齊藤幹事より，委員会の設立の趣旨が説明され，異議なく承認された．なお，委員会活動に対して以下の要望があった．また，各常任委員へ，本小委員会へ適切な人材を推薦するよう，前川委員長より要請があった．

- ・ 資源の有効利用を含めた環境問題も検討して欲しい.
- ・ 地方のニーズをカバーできる人選をお願いしたい.
- ・ JASS5 との整合も視野に入れた議論を進めて頂きたい.

(2) 電気化学的防食工法設計施工指針改訂小委員会 (258) の委員追加【資料 2-3】
受託側委員として、中山一秀氏 (東京工業大学) の追加が認められた.

2. 第 3 種委員会の設立

(3) 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの品質・性能評価に関する調査研究小委員会
(3 種委員会) 設立【資料 6-4】

林オブザーバより、委員会の設立趣旨が説明され、異議なく承認された。なお、委員会の活動として、水分浸透に関する実験を含め、データの充実を図ることが追加説明された。本小委員会は、360 委員会として直ちに委員の公募を開始し、6 月より活動を開始することとなった。

3. その他

設立が認められた後、委員長の体調不良により小委員会の委員公募が開始されていなかった 353 委員会について、次回常任委員会で改組された体制が認められた後、委員公募を実施することとなった。なお、新体制においてコンクリート委員を幹事以上に含めることを要望する。

報告事項：

1. 平成 30 年度コンクリート委員会一般会計予算施行状況【資料 6-5】

小林幹事長より、示方書の仕掛金は本部に返上することが報告された。

2. 第 3 種委員会の委員追加・交代

(1) 既設コンクリート構造物の構造性能評価研究小委員会 (355) 【資料 6-6】

内田 (富山県立大学)、大島 (土木研究所)、田所 (鉄道総合技術研究所)、山本 (京都大学) の 4 名の幹事と、柏原 (西日本旅客鉄道) の委員の追加が認められた。

3. 講習会・報告会の開催案内

(1) 若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会【資料 6-7】

田中委員より、6 月 5 日に土木学会講堂にて講習会が開催される報告があった。なお、案内状に記載されている吉田賞選考委員会共催は削除する。

(2) 「高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート製品の設計・製造・施工指針 (案)」
(262) の発刊に伴う講習会【資料 6-8-1, 6-8-2】

綾野幹事より、全国 9 ヶ所で、講習会が開催されると報告があった。

4. 講習会・報告会の開催報告

(1) 示方書 [維持管理編] [規準編] 講習会【資料 6-9】

小林幹事長より、新たに、仙台、広島、福岡で維持管理編の講習会が開催された報告があった。

5. 重点研究課題の応募

(1) 平成 31 年度「重点研究課題 (研究助成金)」【資料 6-10】

斉藤幹事より、構造工学委員会とも協力し、構造物毎に、点検結果に基づいた評価方法のガイドライン作成を目指すという説明があった。

6. その他

(1) 第 19 回コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウム論文募集

【資料 6-11】

小林幹事長より、第 19 回コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウムは、10 月 17 日に京都テルサで開催されること、および、論文の投稿申込は、3 月 18 日であると案内があった。

懇談事項

1. 施工現場の生産性向上に向けた生コン(JIS 規格品)の圧縮強度試験立会の廃止
と品質確保・管理方法の高度化について

次回開催日：

平成 31 年度 第 1 回コンクリート常任委員会

- 日時、場所とも未定
-